

OMC事務局 〒560-0085 豊中市上新田4-16-1-33 合原一夫 TEL06-6833-9227
広報編集局 〒573-1171 枚方市三栗1-18-20 前田茂夫 TEL072-850-5781
<http://www6.ocn.ne.jp/~nakabc/omc-news/kaiho.htm>

平成27年3月(2015年) No.591

秋の第55回OMCフェスティバルに向けて 良い作品を1本でいいから作ろう

会長 合原一夫

寒かった今年の冬も、いよいよ春本番の季節となってまいりました。皆さんこのところ毎月例会に多くの方が作品を作って持ってこられ、上映時間一杯の盛況が続いていることはうれしい限りです。作品が作れるということは健康の証しでもあります。例会が盛況続きでありますよう祈念しています。

さて、今年も10月に発表会を予定しておりますが、今年には第55回目の発表会となります。第50回記念のときは朝日生命ホールで満員のお客様を迎えて盛大に開催しましたが、あれから早や5年が経ったんですね。毎年、OMCの映写会はレベルが高いと好評を得ていますが、今年の55回記念映写会も、ぜひ質の高い作品でプログラムを構成したいものです。そのための勉強会も考えていいかなと思っています。全国コンテストに出品する意気込みで一つ、皆さん一人一作、自信作を目指して作ってみませんか。

■良い作品づくりのヒントに

- ①何を伝えたいか、制作の意図が伝わる構成であってほしいこと。
- ②BGMを使い過ぎないこと。自然の音、会話等できるだけ活かすこと。
どうも例会作品を拝見していると最初から最後までBGMだけ、という作品が多すぎます。作品の内容にもよりますが、BGMは半分から3分の1くらいのつもりで一度考えてみては如何でしょう。
- ③音楽の終りはフェードでなく、きっちり終字幕に合わせましょう。
- ④ラストは、見終わって印象に残る映像を、ラストカットを大切に。
- ⑤ナレーションが終わってから10～30秒位の余韻を残して終を出そう。

3月例会のお知らせ

3月例会は第4日曜28日午後6時より難波市民学習センターにて開催します。撮影会前の例会ですので確認事項などあるかもしれません。もう暖かくなっている頃だと思えます。月一回の集いです。楽しいひと時を皆さんと共に過ごしましょう。どうぞお越し下さい。

撮影会は4月4日(土)～5日(日)

すでにお知らせの通り今年の OMC 撮影会は兵庫県たつの市室津 賀茂神社とその周辺で行われます。

集合：阪神梅田駅東口改札前 8時30分

参加費：15,000 円 3月例会にて会計にお支払ください。

2月例会レポート

28日(土)午後6時より開催。今月は1月の積み残し1本と2月分16本の計17本が出品されました。定時の9時に終了するかどうか案じられたが司会進行がスピーディに行われほぼ定時に終了し積み残しが発生しませんでした。

司会、上田氏、書記、前田氏、上映係に井上氏、河合氏、映像記録、江村氏、受付兼照明係、華岡氏、宮崎氏、掲示、紙本氏の各氏の担当で会を進行しました。

◆出席者：有村、岩井、井上、上田、江村、岡本、蟹江、紙本、河合、合原、進藤、関、高瀬、鉄具、西井、西村、野田、華岡、前田、宮崎、森口、山本、吉村(敬称略)の23名と作品本数 17本でした。

◆上映作品(今月の記録と講評担当：前田世話役です)

1. 秋、湖北(BD)

関剛

7分45秒

昨年の秋びわ湖一周の旅をした時に立ち寄った湖西、マキノ辺りの周辺の情景をまとめた作品。作者は特に力を入れて作っていないとのこと。映像は湖面に立てられた杭のアップから始まります。それからエリ網がロングやアップで描かれびわ湖らしい落ち着いた情感ある風景が展開されます。曇った空の下、モノトーンのしっとりとした景色です。このような作品はピーカンの時より曇りや小雨の時の方が落ち着いた表現がなされて相応しいと思います。時が経つにつれて日が昇り色彩が鮮やかになってきます。白鬚神社の大鳥居、鮮やかなメタセコイヤの並木道のアップや車の走行風景で終わります。湖西の秋らしい趣のある作品でした。

2. 京都龍馬よさこい(BD)

江村一郎

7分10秒

よさこいといえば本場高知のよさこいを毎年必ず撮ってこられますが、今回は他所のよさこいを撮って来たと持参されたのが京都のよさこいです。三条商店街を踊

るよさこい一行を手始めに、二条城、霊山護国神社等での踊りが紹介されます。龍馬遭難に因んだイベントでもあるようで京都らしい趣向が感じられます。観客と踊り手のアップとロング映像を上手くミックス編集されているのはこれまでの作品と同様に迫力があります。作者のよさこいに対する情熱は驚くばかりです。高知本場のよさこいに感激して平成4年に北大生が導入したという札幌のよさこいソーラン祭りまで足を伸ばしたらいかがでしょうか。

3. おんな港・室津(BD)

岡本至弘

4分20秒

4月4～5日の OMC 撮影会の参考にと持参された昭和61年の8ミリテレシネ映像。別のクラブの撮影会作品の一部が紹介されました。街並みが今昔でどう変わったのか見つめるのも楽しみの一つです。メインの小五月祭りの映像が紹介されなかったのは残念でした。

4. 方相氏がいる節分祭(BD)

進藤信男

10分10秒

「方相氏(ほうそうし)とは玄衣朱裳の袍を着て金色の4つの目をもった面をつけ右手に鉾、左手に盾を持ち宮中の鬼を払って回った役人」と最初に説明文が表示されわかりやすくされています。場所は鞍馬寺での節分祭の情景がナレーションを入れて丁寧に進行されていきます。小雪の舞う鞍馬寺の景観が風情を豊かに描かれます。やがて祭りごとを司る一行が本殿に向かいます。本殿で追儺式が挙行されますが、方相氏が子供たちと登場し厄払いを行います。同時に神官に似た扮装の公達一行が一斉に厄を払って、祭文を結び付けた矢を放ちます。矢を拾った参詣者は今年1年間の幸せを願います。小雪の舞う鞍馬寺らしい節分祭が描かれています。日本的な祭事の一つです。

5. 四天王寺四季曼荼羅(BD)

紙本勝

11分25秒

大阪では珍しく雪花の舞う四天王寺の大鳥居から始まります。しっとりとした境内が映し出されこれから始まる映像に期待感を抱かせてくれます。元旦から14日まで行われる修正会の最終日に信仰と心身を鍛錬する「どやどや」が奉納されますが、撒き水が飛び散る難しい情景を実に上手く撮影されています。若者たちの熱気が伝わってきます。映像は春の彼岸会と移り、四天王寺が明るく輝きます。聖徳太子の命日に

奉納される舞樂が古式ゆかしく舞われます。季節は移り七夕、幻想的な万灯供養へと展開されます。やがて秋も過ぎ、大晦日の除夜の鐘付が始まります。そして新年が明けこの作品も結びとなります。身近なお寺、四天王寺の1年を何度も通われ丹念に撮られています。それだけに貴重な記録であり、映像美を感じる作品に仕上がっています。今年の OMC 映像祭に上映される予定の素晴らしい力作です。

6. シラズ (BD)

華岡 汪

9分48秒

作者のイランシリーズの第4作目の作品です。今回はイラン南西部の標高 1600 m の高地にある州都へ行ってこられました。標高が高いだけに気候は温暖で特にバラが綺麗なところのようです。かつてはペルシャ帝国の首都でしたが、その後テヘランに首都が移されたとか。最初に紹介されるバラモスクは美しいバラの花のタイルで装飾された建造物です。ステンドグラスの詰め込まれた礼拝堂は美しいものです。西欧寺院のステンドグラスとはひと味違ったオリエンタル風の趣があります。丁寧なナレーションで語られているので、歴史的な背景がよく判ります。作者お得意の紀行作品ですが、この温暖で平和な旧首都を訪問した印象を語ってくれたら、思い出に残るいい紀行作品になるであろうと思います。

7. 四季の彩り (BD)

有村 博

6分55秒

平成 18 年にハイビジョンを始めてから撮りためた各地の映像を四季にまとめた作品です。映像は春の花々が咲き乱れるアップのシーンから始まり、裏磐梯の春の訪れを感じさせてくれます。夏では大正池、田代池、上高地に移ります。その間も多くの綺麗な花が続きます。秋には棚田の風景、燃えるような奈良の紅葉が映えます。冬は静かな BGM に乗って雪景色が拡がり日本の四季の風景が織り成されています。数多い HDV テープを全部見直して、いいカットを取り出しイメージに合った作品を作る作業は時間のかかる大変な作業であっただろうと推察します。同時にこのような趣向で作品を作るのもアリだなと教えられました。ただ秋のシーンの中で公園のコンクリート人工物が映ったカットありましたが、省いた方がより情感がかもし出されたのではと思いました。この作品は撮影場所の特定が重要ではなく、そこでの映像美をいか

に表現することと思います。しっとりとした雰囲気のあるいい作品でした。

8. 信濃錦繡 (BD)

河合源七郎

8分16秒

信州を通り抜けて旅をしたときに、4日ほど信州で滞在し作った紅葉の頃の作品です。快晴の綺麗な紅葉のシーンから始まって、BGM も変わって翌日は霧がかかった山と紅葉の風景です。途中で小雨も降り、しとやかな風情が感じられます。雨も上がり再び日が差して信濃の錦繡が顔を覗かせます。この作品のように美しい日本の自然を謳いあげた映像にはバイクと車のシーンは似合わないのでは外したほうがいいでしょう。それにしても情感ある信州の錦秋の風景に引き込まれました。

9. 雪の三千院 (BD)

西井 学

12分00秒

昨年 11/26 日と今年の 2/1 日に三千院を訪ねて撮影した作品です。秋の三千院では燃えるような紅葉が美しく輝きます。ここ三千院は声明発祥の地だそうで美しい響きが朗々と伝わってきます。広い境内の中にある幾つものお堂が紹介されよく判る構成に仕上がっています。秋の部が終ると阿弥陀菩薩の手の合掌のカットに合わせて「合掌」のタイトル文字が表示され一瞬終わったのかと思いました。作品は続いて冬の部に入っていくのですが合掌のタイトルは不要でした。冬の部では声明が BGM として流れ趣きある雪景色になります。雪景色の情景は良かっただけに、再構成して観客が混乱しないようにされたら如何でしょうか。それと前半のナレーションの音声が籠もっており入れ直した方がいいと思います。

10. ふるさと (BD)

鉄具嘉夫

14分17秒

大連生れの作者ですが、ふるさとは何処ですかと問われると困るそうです。昭和 19 年に日本へ引揚げ後に香川県の観音寺へ移り住み、ここが故郷になったと語られました。転勤族の家庭に育ったそうでふるさとなかったようですが、今回傘寿の祝いで観音寺へ帰り、親戚や学友たちと親交を暖めあって、改めてここが自分の故郷であったと語っておられます。途中で太鼓台「ちょうさ祭り」が登場し映像に明るさと変化をもたせています。ちょうさ祭りが長く紹介されますが、この作品は祭りの紹介でなく自分の故郷がここにあったのだという思いを再認識したたものと受け取りまし

た。似たような環境に育った筆者にはその気持ちがよく判りました。

11. 河船の旅 (BD)

山本正夢 10分11秒

ボルネオに一人で旅をされた時の作品です。ボルネオ島は日本の約 1.9 倍の面積を有し、インドネシア、マレーシア、ブルネイの3ヶ国で成り立っています。先の大戦では石油を求めて日本軍が真っ先に占領したとあります。今回は島の東部サマリダからマハカム川を溯って奥地へと行く船旅です。奥地へはこの河船が唯一の交通手段だそうです。船は進むにつれて赤道直下の熱帯雨林が連続します。その途中に寄港しながら奥地へ奥地へと進みます。やがてロンイランの町に到着、大型船(100t位?)はここまでだそうです。26時間の船旅だったそうで、いつもながら珍しい旅を見せて頂きました。

12. 若返りの水 (8ミリレゾ)

上田吉巳 11分00秒

昭和 52 年に行われたあるクラブのドラマ撮影会の作品です。最近では「マッサン」にも出演した俳優 南条景弘が出てくるのでと云って持参されました。確かに今ではアマチュアクラブでは絶対に撮影出来ない女性のヌード等もあって当時の撮影会幹事さんの情熱の高さが伺えました。大人の民話シリーズと名乗っているだけあって、大人には興味深い撮影会作品で大変よくまとめられています。

13. 台北・雨の街角で (BD)

前田茂夫 4分25秒

昨年3月にクラブの仲間3名に案内してもらって生誕の臺北へ帰郷してから1年近くなります。臺北もミニバイクが大変多い街なので、雨の早朝ホテル近くの街角でウォッチしてきた映像です。信号が変わると一斉に飛び出す様が面白く観察していました。十数年前に上海では赤信号を守らない人が多かったのですが、ここ臺北ではルールはキチンと守られていました。

14. 鬼おどり (BD)

森口吉正 10分40秒

京都・廬山寺で2月3日に行われた節分会を撮ってこられました。追儼式鬼法楽という行事だそうです。赤・青・黒の三体の鬼が登場し、人間の持つ三毒、貪欲・怒り・愚痴を運勢の変わり目といわれる節分に追い払い開運をはかり新しい節を迎えるという法会だそうです。この種の行事ものを撮

ったら上手にまとめる作者の腕が遺憾なく発揮されており、大勢の参詣客の中で身動きが取れない中でよく撮られています。特に堂内で鬼が踊る姿もしっかり撮れており苦勞されたことと思います。いい記録作品でした。

15. 山背古道歩く (BD)

吉村健一 7分00秒

山背古道(やましろこどう)はJR奈良線に沿って、城陽市と木津町との間に続く散歩道だそうです。緑豊かな自然に独特の文化と風景が交わっています。JR木津駅からJR棚倉駅までの歩こう会での記録作品です。作者はOMCに入会されてから1年半ほどですが、その上達振りに驚きました。ナレーションも判り易く、音声音量とも上手に入っています。BGMも適切です。これまでの作者の作品中で一番良かったと思います。カット替りのBGMの出だしの部分に神経を使い作品の終わりとBGMの終りをキッチリ合わせる事が大切です。

16. 富士墨景 (BD)

高瀬辰雄 5分15秒

DV-wideのシーンとハイビジョンとをミックスしたために、前半と後半はカラー映像とし途中をモノクロ映像として富士山作品を作ってきましたとのこと。こうしてモノトーンの映像を見るとカラーにはない新鮮さが感じられました。あたかも水墨画の雰囲気を感じることが出来ました。

17. お笑い神事 (BD)

野田邦雄 7分50秒

枚岡神社で12月25日に行われたお笑い神事を撮ってこられました。正式には注連縄掛神事(しめかけしんじ)と呼ぶそうです。宮司の先導によって、大勢の参詣者が一斉に「アッハッハー」と笑うシーンは面白いです。天照大御神のが二度と天の岩戸にお隠れにならないようにと注連縄が架けられたのが神事の由来だそうです。大きな声を出して笑うことで大いにストレスが発散出来たであろうと思います。ただ神主さん祝詞の場面が何故に無音にしたのでしょうか。祝詞の最初の一言でも入れて欲しかったと惜しまれます。もっと笑う人のアップ・カットが撮れていたら良かったと思いますとの司会者のコメントがありました。今年の神事に行って参詣者に中に紛れ込んで、アップで撮ったらいいでしょうね。何とも愉快的な神事でした。